

2024

令和6年

1/30

所管 広報委員会

発行責任者 梶原宜教

昭和48年初版

第83号

43自治会

8,662世帯

題字揮毫 中原八一新潟市長



坂井輪中学校区まちづくり協議会広報紙



坂井輪中学校区 まちづくり協議会の皆さまへ

新潟市西区長 水野利数

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のあいさつを申し上げます。

はじめに、元日に発生しました能登半島地震により被災され、現在も困難な状況に置かれている方々に心からお見舞い申し上げます。

貴協議会地域では被害が多く発生し避難所生活を余儀なくされている方もいらっしゃいます。貴協議会関係者の中には自宅が被害にあいながらも避難所の運営を行っていただいたことに深く敬意を申し上げるとともに本当に感謝しています。また住宅被害を受けながら不眠不休状態で災害対応支援業務をおこなっている区職員もいます。私を先頭に区の職員は全力でこの度の災害に対応していますが、皆さまのご不安に対応しきれない点は、本当に申し訳ございません。

被害が多く発生し区民の皆さまがご不安を抱えておられることから(1)住宅支援相談窓口の設置(2)保健師の個別訪問(3)心身の健康相談電話を健康福祉課に設置しています。また、(4)災害支援・相談に関する総合窓口を西区役所隣の健康センター棟に開設する予定です。

今後の支援についてです。1. 災害救助法に基づく支援(初動時の支援) 2. 特定非常災害法に基づく支援(初動時の支援) 3. 被災者生活再建支援法に基づく支援(応急・復旧時の支援) 4. 激甚災害法に基づく支援(復旧・復興段階の支援)と、順次法令に基づき対応していきます。

しかしながら、これらの支援制度は全国に適用できるように最大公約数的な内容であるため、西区特有の被害に応じた支援制度も創設する必要があると考えています。この点は本庁を通じて、国・県に働きかけ復興支援を補完するきめ細かな事業に取り組んでいきます。

最後に60年前に震度5の新潟地震は中央区、東区を中心に甚大な被害がありました。その後、大きく発展した西区ですが今回の震度5強の地震により多くの被害が発生しました。

今後は応急・復旧に向けて取り組み、次の復興段階は、皆さまが希望を失うことがないように、これまで以上に災害に強いまちづくりに向けて取り組みます。復興に向けて皆さまのご理解とご協力をお願いするとともに、ご意見を大切に、尊重しながら西区のさらなる発展に向けて取り組みます。

皆さまと共に築き上げてきた「安心・安全で快適に暮らせるまち」をこれまで以上に感じてもらえる復興を目指して区職員一同懸命に取り組んでまいります。



年頭のご挨拶

坂井輪中学校区まちづくり協議会
会長(連合自治部長) 梶原宜教

令和6年の新しい年を迎え、にこやかな年頭のご挨拶を考えていたところ、元日早々の能登半島地震で当坂井輪地域も広範囲で家屋倒壊、道路の隆起や陥没、断水、ガス漏れなどこの地域一帯が甚大な被害を被ってしまいました。地震発生後私共まちづくり協議会では、直ちに4避難所を立ち上げ避難民の受入れをそれぞれ行いましたが、実際に4避難所で1,570名ほどの方が避難され、また106名の方が宿泊されていました。私自身も避難所現場で対応をさせていただきましたが、昨年の防災訓練でのマニュアル通りに対応できないことも多々あり、反省しているところです。避難所での要支援者対応や、帰宅できず正月3が日まで避難所で宿泊されている方への対応など課題も多く、改めて地域自治会との連携と対応が必要不可欠であると思われました。いづれにしてもこの度大きな被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、超高齢・少子化社会が進む中で、私共は今まで防災・防犯、生活環境、地域福祉など多岐にわたる地域課題への取り組みを地域の皆様と一緒に進めてまいりました。しかし今この災害対応を通して改めて考えてみますと、個々の地域の皆さんが私共が行っている活動をご理解いただいているか、またその地域の自治会組織が住民への周知とニーズの把握、まち協が行う支援事業へのつなぎができていないのか不安になります。

その一例をあげますと、私共では地域の高齢者世帯の日常生活支援事業として見守りを兼ねて家庭ごみを巡回収集する「ふれあい収集事業」を行っていますが、希望する自治会数は全く変化がない反面、希望世帯数は増加しています。希望がない自治会には困っている高齢者がいないのか、独自で支援を行っているか?この取り組み自体を知らないのか?……。自治会組織が弱体化し、独自の事業展開は出来なくても、そこに居住する住民が会費を出し合って活動する自治会組織がありますので、私どもへのつなぎ役はできると思いますし、住民の皆様も是非私共の活動にアンテナを張って地域の中で希望の声を上げていただければと思います。今回のこの災害対応で改めて地域自治会の役割の大きさを感じ、年頭での独り言として記させていただきました。

新しい年の始めのこの大災害で、私共坂井輪地域に甚大な被害が出てしまいましたが、今こそこの苦難を乗り越え「さかい輪地域の輪づくり」を進めていくことを願っております。

令和5年度合同防災訓練開催!!

防火・防災部



10月15日(日)あいにくの雨模様の中、さかい輪地区連合自主防災会と合同で、避難所運営訓練を兼ねた合同防災訓練を実施しました。

坂井輪中学校区内の全自治会から総勢881名の皆様から参加いただき、4か所の避難所に分かれていざという時にどう対処するか訓練を通して体験する機会としました。避難者の受付から適切な場所へのご案内、炊き出し訓練は初めて参加者から体験していただきました。また、今回は、西消防署のご協力とご指導を得て、心肺蘇生

やAEDを使った訓練を実施しました。皆様、真剣に取り組んでいらっしゃいましたが、こうした実践的な訓練を通して、参加者の防災意識の向上を感じるなど、有意義な防災訓練となりました。

◎ 避難所運営に関する 区役所との意見交換会

防災訓練に先立ち、避難所運営を円滑に推進するために、8月28日(月)管轄の西区役所総務課と情報交換会を行いました。坂井輪中学校区内に4か所の避難所運営委員会を立ち上げて2年たちますが、昨年の防災訓練を経て様々な避難所運営に関する疑問や質問等を行政と共有するために開催したものです。各避難所の収容人数や簡易トイレの設置など活発な質問や意見等が交わされ、充実した時間を過ごすことができました。



各避難所にテントが配置されました!

避難所生活時のプライバシーを確保するために、今回「赤い羽根共同募金会」の補助をいただき、プライベートテントを購入することができました。

=写真=

簡単に組立収納ができ、また収納時には場所を取らない優れたものです。会場でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、ジッパーで入口を閉めれば、着替えや授乳等様々な場面で活用できるため、災害時には大いに役立つものと期待できます。



防災スキルアップ講習会

女性支援隊

昨年に続き女性防災士さん指導の元、災害に備える意識の向上と被災時に必要になる知識と技術を身につけることを目的に、新大しホームの学生と支援隊員とで講習会を行いました。

備蓄する物や保管方法の他に、常に携帯が望ましい防災用品の紹介もあり、より現実的に学ぶことが



ことができました。実践では、常備食材・乾物・缶詰・調味料を水と一緒にポリ袋に入れて湯煎する調理法を教わり、スープ・ゆでピラフ・きなこいろいろ等が完成。おいしい仕上がりは驚きでした。

続いて、大学生から活動報告があり、街歩きや「子ども食堂」などの地域活動に参加している様子が伺え、普段も非常時にも一緒に助け合える若い力があることを頼もしく思いました。



三者合同研修会 「認知症とその対応」

福祉部

11月19日(日)、民生・児童委員、友愛訪問員、自治会役員103名が一堂に会し、三者合同研修会が西区役所健康センターで行われました。今回は「今の認知症を学び・共に歩む」をテーマに、みどり病院院長成瀬聡様より「認知症とその対応について」を「認知症基本法」の観点から講演いただきました。

引き続き、若年認知症や地域の認知症の実務担当者による事例・実例発表の貴重なお話を伺いました。

高齢化社会が加速する昨今、共生社会の推進には認知症に対する正しい知識、正しい理解を深めることが喫緊の課題です。

誰もが安心して暮らせる共生社会を実現するために、「関心を持つことの大切さ、相手を思いやることの大切さ」を再認識した研修会でした。



中学生も参加!子どもを取り巻く井戸端会議

子ども部



昨年に引き続き第2回「子どもを取り巻く井戸端会議」を開催いたしました。今年度は中学生も参加してくださいました。ワークショップ形式でこれからの「さかい輪」をどのようにしていきたいかを世代を超えて話し合うことができました。次年度子どもたちが参加対象となる事業に当事者である子どもたちの声を取り入れることができればよいと思います。

子ども条例が施行され2年目を迎える新潟市です。子どもの意見表明権や社会活動に参加する権利を大切にしながら地域活動を行いたいと思います。



今年も盛況!健康・輪づくり交流会

10月22日(日)さかい輪地区社会福祉協議会と共催で、地域住民の健康づくりと交流を目的に「健康・輪づくり交流会」を新通つばさ小学校で開催しました。

今年も西区社協様、坂井輪診療所様、福祉施設様のご協力で「健康ブース」「福祉ブース」「チャリティ・バザー」新たに「プレイコーナー」を設け、来場された皆様に楽しんでいただくことができました。同じ会場で行われた野菜やパン等の販売も、大盛況でした。



令和5年度西区功労者表彰式

11月18日(土)黒崎市民会館において自治会長・町内会長永年勤続者表彰ほか永年地域の様々な分野で活動してきた方々を表彰する場が設けられ、当まちづくり協議会からも菊池三男様、関 憲一郎様の2名が西区長より感謝状が贈られました。



令和5年度 連合自治部全体会議(総会) さかい輪地区連合 自主防災会総会



連合自治部全体会議

さかい輪地区連合自主防災会総会

令和5年5月20日(土)坂井輪中学校区まちづくり協議会連合自治部全体会議(総会)が、西区役所健康センター3階大会議室で開催されました。委任状を含む49名の自治会からの出席により、上程された以下の議案を審議し、全て原案どおり拍手をもって承認されました。

令和5年5月27日(土)坂井輪中学校ランクルームで、さかい輪地区連合自主防災会総会が開催されました。当日は来賓に西区役所総務課長の内藤晃子様をお迎えして、以下の議案について審議し、拍手をもって全ての議案が承認されました。

- 令和4年度事業報告及び収支決算報告
- 令和5年度事業計画(案)及び収支予算書(案)
- 令和5年度役員の補充選任

- 令和4年度事業報告及び収支決算報告
- 令和5年度事業計画(案)及び収支予算書(案)
- 令和5年度役員の補充選任

なお、選任された補充新任役員(敬称略)は、以下の5人となります。

なお、新たに選任された補充選任役員(敬称略)は、以下の7人です。

- 新常任委員(副部長兼任) 吉田 明美
- 新常任委員 廣井 清隆
- 新常任委員 白田 賀一
- 新常任委員 佐藤 正彦
- 女性支援隊隊長 山本貴美子

- 副会長 白田 賀一
- 副会長 廣井 清隆
- 総務部長 吉田 明美
- 食料物資部長 加藤 寛
- 幹事 市川 富夫
- 幹事 佐藤 正彦
- 会計 五十嵐正徳



コロナ禍からのリスタート

寺尾新町第二自治会 会長
白田 賀一

寺尾新町第二自治会は、坂井輪中学と西区役所の回りをぐるりと取り囲む場所に位置し、世帯数は338軒と大きめな自治会です。北側は、越後線に止められ海岸方面に抜ける事が出来ないお陰で車両の通行量も比較的少なく静かな住宅街となっておりますが、ほとんどが袋小路で、市の除雪の対象外となり積雪時には苦労させられます。南側の寺尾東二丁目の一部は、地形的に非常に低い上、排水路がきちんと整備が行われて無い箇所もあり、豪雨の際には水が溢れる事もあるとの事です。



寺尾駅に近く立地的には、非常に良い地域ですが、古くからある住宅街と言う事で、高齢化や空き家も増えて来ています。高齢の一人暮らしの方には、福祉協議会様より、安否確認としてヤクルト配布が行われていますが、各班の班長さんより配布して貰う事により、ご近所さんからの見守り体制が出来上がっています。

今年度は、脱コロナ禍夏事業として、「ふれあい坂井輪まつり」に自治会として参加、テント2張りをメインステージ前にお借りし、育成部での子供達を対象とした各種くじ引きコーナーや、自治会役員の運営する休憩所兼お菓子と風船無料配布コーナーは、来場者様から好評を得ました。(来年は、もっと沢山配りま〜す。)

次年度も、自治会の皆様と協力し、状況に合ったイベントや福祉事業を、再開して行きたいと思っております。

